

新型コロナウイルス感染症に係る傷病手当金の支給について

給与の支払いを受けている方のうち、新型コロナウイルス感染症に感染または発熱等の症状があり感染が疑われたため仕事を休んだ場合に、傷病手当金を支給します。

1 対象者

次の4つの条件すべてに当てはまる方が対象となります。

- (1) 給与の支払いを受けている方で、宮城県後期高齢者医療制度に加入している方。
- (2) 新型コロナウイルスに感染または感染が疑われた^{※1}ため、3日間連続^{※2}で仕事を休み（待期期間）、4日目以降にも仕事を休んだ日があること。
 - ※1 濃厚接触者や休業要請等で仕事を休んだときは対象になりません。
 - ※2 勤務予定日を休んだ日を1日目として数えます。2・3日目は公休日（勤務予定がなかった日）でも構いません。
- (3) 仕事を休んでいる期間の給与が支払われないまたは給与が一部しか支払われないこと。
- (4) (2)の4日目以降に仕事を休んだ日が、令和2年1月1日から令和3年6月30日までの間にあること。

2 支給対象となる日数

新型コロナウイルスに感染または感染が疑われたため、3日間連続で仕事を休んだ（待期期間）後、4日目以降の勤務予定日を休んだ日数（入院が継続する場合、最長1年6か月間）。

【例】

勤務予定	公休	勤務	勤務	公休	勤務	勤務	公休	勤務	勤務
↓	発症日								
発症後の状況	公休	休暇	休暇	公休	休暇	休暇	公休	休暇	休暇
待期期間と支給対象日	待期期間3日			支給	支給	支給 支給			

※勤務予定日を休んだときが、待期期間の1日目となります。

この場合、支給対象日は4日です。

3 支給額

1日当たりの支給額^{※3}（（直近の継続した3か月間の給与収入の合計額÷就労日数）×2／3）×支給対象となる日数^{※4}

※3 1日当たりの支給額は30,887円が上限です。

※4 仕事を休んだ期間に給与が一部支払われる場合、その給与が上記で計算した支給額より少ないときは、その差額を支給します。上記で計算した支給額より給与が多い場合は支給しません。

4 提出書類

- ・ 傷病手当金支給申請書①（被保険者記入用①）
- ・ 傷病手当金支給申請書②（被保険者記入用②）^{※5}
- ・ 傷病手当金支給申請書③（事業主記入用）
- ・ 傷病手当金支給申請書④（医療機関記入用）または医療機関の領収書・診療明細書の写し^{※5※6}
- ・ 保険証の写し
- ・ 振込先通帳の写し

※5 医療機関を受診しなかった場合、申請書②（被保険者記入用②）に、「③症状・受診しなかった理由」の記入と「事業主記入欄」への証明が必要です。申請書④（医療機関記入用）の提出は不要です。

※6 医療機関の領収書、診療明細書などで診療状況が確認できる場合、申請書④（医療機関記入用）の提出は不要です。

5 問い合わせ先

- 宮城県後期高齢者医療広域連合 給付課
電話：022-266-1021

後期高齢者医療傷病手当金支給申請書①(被保険者記入用①)

被 保 険 者 情 報	保険者番号	3	9	0	4					
	被保険者番号									
	(フリガナ) 氏名					生年月日	明治 大正 昭和	年	月	日
	住所									
振 込 先	金融機関 名称	銀行 信用金庫 農業協同組合 信用組合 ()				本店 支店 ()				
							※ゆうちょ銀行の場合は、3桁の店番を記入			
	金融機関コード				支店コード					
	預金種別	普通・当座・貯蓄			口座番号					
	口座名義人 (カタカナ)									
※左詰めで記入してください。濁点、半濁点は1字として、姓と名の間は一字空けてください。										
宮城県後期高齢者医療広域連合長 様										
上記のとおり、傷病手当金を申請します。										
令和 年 月 日										
申請者 住所 _____										
氏名 _____										
電話番号 _____										

【委任状】 申請者以外の方が受領する場合は、以下の委任状をご記入ください。

委任者 (申請者)	本申請に基づく給付金の受領に関する権限を下記代理人に委任します。 令和 年 月 日									
	住所									
	氏名									
受任者 (代理人) ※口座名義人	住所									
	氏名								被保険者との関係	

保険者 記入欄	受領申出	審査結果	支給決定額	備考
	<input type="checkbox"/> 不要 <input type="checkbox"/> 提出済	<input type="checkbox"/> 支給 <input type="checkbox"/> 却下	円	

後期高齢者医療傷病手当金支給申請書②(被保険者記入用②)

被保険者氏名	
--------	--

症状が出た日	令和 年 月 日	帰国者・接触者相談センターへの相談日 ※相談した場合に記入	令和 年 月 日 (時頃)				
① 医療機関の受診状況		1. 受診した 2. 受診していない					
(①で「受診した」と回答した場合) ② 医療機関の受診日		令和 年 月 日					
		令和 年 月 日					
		令和 年 月 日					
(①で「受診していない」と回答した場合) ③ 症状・受診しなかった理由							
④ 療養のために休んだ期間	令和 年 月 日から 令和 年 月 日まで	⑤ ④の期間のうち、4日目以降の勤務ができなかった日数 (勤務予定日に、新型コロナウイルス感染症(発熱等の症状があり、感染が疑われる場合を含む)によって休んだ日数)	日				
⑥ ④の療養のために休んだ期間に給与等の支払いを受けましたか。または、今後受けられますか。		1. はい 2. いいえ					
⑦ ⑥で「はい」と回答した場合、その給与等の額と、その支払いの対象となった(なる)期間をご記入ください。		令和 年 月 日から 令和 年 月 日まで					
		給与等の額	<table border="1" style="display: inline-table; border-collapse: collapse; width: 150px; height: 20px;"> <tr> <td style="width: 25%;"></td> <td style="width: 25%;"></td> <td style="width: 25%;"></td> <td style="width: 25%;"></td> </tr> </table> 円				

(上記①において「受診していない」と回答した場合は、下記の事業主記入欄について、事業主の証明が必要です。)

事業主記入欄	令和 年 月 日		
	上記④～⑦の内容については、当事業所において把握している内容と相違ないことを証明します。		
	事業所所在地		
	事業所名称		
事業主氏名	⑩		
担当者氏名		電話番号	

後期高齢者医療傷病手当金支給申請書③(事業主記入用)

労務に服することができなかった期間を含む賃金計算期間の勤務状況及び賃金支払状況等をご記入ください。

被保険者氏名																		
①新型コロナウイルス感染症(発熱等の症状があり感染が疑われる場合を含む)により、労務に服することができなかった期間の勤務状況 【出勤は○】、【公休は公】、【上記の事由による有給休暇は△】、【上記の事由による無給休暇は×】、【その他の有給休暇は＝】、【その他の無給休暇は／】で表示してください。												新型コロナウイルス感染症 (感染疑い含む)による休 暇の日数						
令和 年 月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	有給(△)	無給(×)	
	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30			31
令和 年 月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15			
	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31		
②新型コロナウイルス感染症(発熱等の症状があり感染が疑われる場合を含む)により、労務に服することができなかった期間の属する月の直近3か月の勤務状況 【出勤は○】、【有給休暇は＝】で表示してください。												賃金が生じた日数の計 (○、＝の計)						
令和 年 月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	日		
	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31		
令和 年 月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	日		
	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31		
②の期間に対して、賃金を支払いましたか？	1. はい		給与の種類	<input type="checkbox"/> 月給 <input type="checkbox"/> 時間給		賃金計算	締日		日									
	2. いいえ			<input type="checkbox"/> 日給 <input type="checkbox"/> 歩合給			支払日		1. 当月		日							
				<input type="checkbox"/> 日給月給 <input type="checkbox"/> その他				2. 翌月		日								
②の期間の課税対象となる賃金支給状況をご記入ください。ただし、期末勤勉手当(賞与)は除く。																		
事業主が証明するところ 支給した賃金内訳	期間 区分	単価(円)	月 日 ~ 月 日 分		月 日 ~ 月 日 分		月 日 ~ 月 日 分											
			(A) 支給額(円)		(B) 支給額(円)		(C) 支給額(円)											
	基本給																	
	時給																	
	手当																	
	手当																	
	手当																	
	手当																	
	現物給与																	
	計																	
				賃金支給総額(上記(A)~(C)の合計)						円								
賃金計算方法(欠勤控除計算方法等)についてご記入ください。																		
令和 年 月 日																		
上記のとおり相違ないことを証明します。 事業所所在地 事業所名称 事業主氏名																		
(印)																		
担当者氏名				電話番号														

後期高齢者医療傷病手当金支給申請書④(医療機関記入用)

※医療機関を受診していない場合は記入不要です。

医療機関担当者が意見を記入するところ	患者氏名																															
	傷病名											初診日	令和	年	月	日																
	発病年月日	令和	年	月	日	発病の原因																										
	労務不能と認められた期間	令和	年	月	日から																											
		令和	年	月	日まで																											
	うち、入院期間	令和	年	月	日から	療養費用の種別	<input type="checkbox"/> 国保	<input type="checkbox"/> 公費()																								
		令和	年	月	日まで	転帰	<input type="checkbox"/> 自費	<input type="checkbox"/> その他	<input type="checkbox"/> 治癒	<input type="checkbox"/> 中止	<input type="checkbox"/> 繰越	<input type="checkbox"/> 転医																				
	診療日及び入院していた日を○で囲んでください。	令和	年	月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	診療 実日数	日											
					16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30			31										
		令和	年	月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	診療 実日数	日											
			16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31														
	令和	年	月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	診療 実日数	日												
			16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31														
上記の期間中における「主たる症状及び経過」「治療内容、検査結果、療養指導」等(詳しく)																																
											手術年月日	令和	年	月	日																	
											退院年月日	令和	年	月	日																	
症状経過から見て従来職種について労務不能と認められた医学的な所見																																
令和 年 月 日																																
上記のとおり相違ありません。																																
医療機関の所在地																																
医療機関の名称																																
医師の氏名																				電話番号												

後期高齢者医療傷病手当金支給申請書①(被保険者記入用①)

被 保 険 者 情 報	保険者番号	3	9	0	4	1	1	1	1				
	被保険者番号	0	1	2	3	4	5	6	7				
	(フリガナ) 氏名	コウキ タロウ 後期 太郎					生年月日	明治 大正 昭和 15 年 1 月 1 日					
	住所	△△県〇〇市□□町1丁目2番3号											
振 込 先	金融機関 名称	後期					中央						
		(銀行) 信用金庫 農業協同組合 信用組合 ()					(本店支店) ()						
	金融機関コード					支店コード							
	預金種別	普通・当座・貯蓄			口座番号			1	2	3	4	5	6
口座名義人 (カタカナ)		コウキ タロウ											
		※左詰めで記入してください。濁点、半濁点は1字として、姓と名の間は1字空けてください。											
宮城県後期高齢者医療広域連合長 様 上記のとおり、傷病手当金を申請します。 令和 2年 4月15日 申請者 住所 △△県〇〇市□□町1丁目2番3号 氏名 後期 太郎 電話番号 012 - 3456 - 7890													

【委任状】 申請者以外の方が受領する場合は、以下の委任状をご記入ください。

委任者 (申請者)	本申請に基づく給付金の受領に関する権限を下記代理人に委任します。 令和2年4月15日											
	住所	同上										
	氏名	後期 太郎										
受任者 (代理人) ※口座名義人	住所	△△県〇〇市□□町1丁目2番3号										
	氏名	後期 花子									被保険者との関係	
											妻	

保険者 記入欄	受領申出	審査結果	支給決定額	備考
	<input type="checkbox"/> 不要 <input type="checkbox"/> 提出済	<input type="checkbox"/> 支給 <input type="checkbox"/> 却下	円	

後期高齢者医療傷病手当金支給申請書②(被保険者記入用②)

被保険者氏名	後期 太郎
--------	-------

症状が出た日	令和2年3月10日	帰国者・接触者相談センターへの相談日 ※相談した場合に記入	令和2年3月13日 (午前11時頃)																															
① 医療機関の受診状況	<input checked="" type="radio"/> 1. 受診した <input type="radio"/> 2. 受診していない																																	
(①で「受診した」と回答した場合)	令和 2 年 3 月 13 日																																	
(①で「受診した」と回答した場合) ② 医師の診断結果	勤務予定日から3日間連続で休んだ後、4日目以降に勤務予定日を休んだ日数(支給対象日数)を記入してください。 【例】× = 勤務予定日を休んだ日、公 = 公休。4日目以降の×の日数を記入。																																	
(①で「受診した」と回答した場合) ③ 症状	<table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <td>1</td><td>2</td><td>3</td><td>4</td><td>5</td><td>6</td><td>7</td><td>8</td><td>9</td><td>×</td><td>×</td><td>公</td><td>×</td><td>公</td><td>公</td> </tr> <tr> <td>公</td><td>公</td><td>公</td><td>×</td><td>×</td><td>×</td><td>公</td><td>公</td><td>公</td><td>×</td><td>×</td><td>×</td><td>28</td><td>29</td><td>30</td><td>31</td> </tr> </table>			1	2	3	4	5	6	7	8	9	×	×	公	×	公	公	公	公	公	×	×	×	公	公	公	×	×	×	28	29	30	31
1	2	3	4	5	6	7	8	9	×	×	公	×	公	公																				
公	公	公	×	×	×	公	公	公	×	×	×	28	29	30	31																			
④ 療養のために休んだ期間	令和2年3月10日から 令和2年3月27日まで	⑤ ④の期間のうち、4日目以降の勤務がなかった日数 (勤務予定日に、新型コロナウイルス感染症(発熱等の症状があり、感染が疑われる場合を含む)によって休んだ日数)	7日																															
⑥ ④の療養のために休んだ期間に給与等の支払いを受けましたか。または、今後受けられますか。	<input type="radio"/> 1. はい <input checked="" type="radio"/> 2. いいえ																																	
⑦ ⑥で「はい」と回答した場合、その給与等の額と、その支払いの対象となった(なる)期間をご記入ください。	令和 年 月 日から 令和 年 月 日まで	給与等の額	円																															

(上記①において「受診していない」と回答した場合は、下記の事業主記入欄について、事業主の証明が必要です。)

事業主記入欄	令和 年 月 日		
	上記④～⑦の内容については、当事業所において把握している内容と相違ないことを証明します。		
	事業所所在地	事業所名称	事業主氏名 (印)
担当者氏名		電話番号	

後期高齢者医療傷病手当金支給申請書③(事業主記入用)

労務に服することができなかった期間を含む賃金計算期間の勤務状況及び賃金支払状況等をご記入ください。

被保険者氏名		後期 太郎			
①新型コロナウイルス感染症(発熱等の症状があり感染が疑われる場合を含む)により、労務に服することができなかった期間の勤務状況 【出勤は○】、【公休は公】、【上記の事由による有給休暇は△】、【上記の事由による無給休暇は×】、【その他の有給休暇は＝】、【その他の無給休暇は／】で表示してください。		新型コロナウイルス感染症(感染疑い含む)による休暇の日数			
令和2年3月	1 2 3 4 5 6 7 8 9 × × 公 × 1公 公 公 公 公 × × × 公 公 公 × × × 28 29 30 31	有給(△)	無給(×)		
令和 年 月	1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31	日	10 日		
②新型コロナウイルス感染症(発熱等の症状があり感染が疑われる場合を含む)により、労務に服することができなかった期間の属する月の直近3か月の勤務状況 【出勤は○】、【有給休暇は＝】で表示してください。		賃金が生じた日数の計(○、＝の計)			
令和元年12月	1 2 ③ 4 5 6 7 ⑧ 9 10 11 12 13 ④ 15 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31	9	日		
令和2年1月	1 2 3 4 5 6 ⑧ 9 10 11 12 13 ④ ⑤ 16 17 18 ⑨ ⑩ 21 22 23 24 ⑤ ⑥ 27 28 29 30 31	8	日		
令和2年2月	1 ② 3 4 5 6 ⑦ ⑧ 9 10 11 12 13 ④ ⑤ 17 18 ⑨ 20 21 22 ③ 24 25 26 ⑦ 28 29 30 31	10	日		
②の期間に対して、賃金を支払いましたか？		<input checked="" type="radio"/> はい <input type="radio"/> いいえ	給与の種類 <input type="checkbox"/> 月給 <input type="checkbox"/> 時間給 <input type="checkbox"/> 日給 <input type="checkbox"/> 歩合給 <input checked="" type="checkbox"/> 日給月給 <input type="checkbox"/> その他		
		賃金計算 締日 毎月末 日 支払日 1. 当月 25 日 2. 翌月			
②の期間の課税対象となる賃金支給状況をご記入ください。ただし、期末勤勉手当(賞与)は除く。					
事業主が証明するところ 支給した賃金内訳	期間 区分	単価(円)	12月1日～12月31日分 (A)支給額(円)	1月1日～1月31日分 (B)支給額(円)	2月1日～2月29日分 (C)支給額(円)
	基本給	10000	90000	80000	100000
	時給				
	手当				
	手当				
	手当				
	現物給与				
	計		90000	80000	100000
		賃金支給総額(上記(A)～(C)の合計)		270000円	
賃金計算方法(欠勤控除計算方法等)についてご記入ください。					
令和 2年 4月14日					
上記のとおり相違ないことを証明します。 事業所所在地 ○○県○○市○○1丁目1番1号 事業所名称 株式会社 ○○○○ 事業主氏名 代表取締役 ○○ ○○					
担当者氏名	○○ ○○	電話番号	○○○-○○○-○○○○		

後期高齢者医療傷病手当金支給申請書④(医療機関記入用)

※医療機関を受診していない場合は記入不要です。

医療機関担当者が意見を記入するところ	患者氏名	後期 太郎																		
	傷病名	新型コロナウイルス感染症による呼吸器疾患(肺炎)	初診日	令和 2 年 3 月 13 日																
	発病年月日	令和 2 年 3 月 10 日																		
	労務不能と認められた期間	令和 3 年 3 月 10 日から																		
		令和 3 年 3 月 27 日まで																		
	うち、入院期間	令和 3 年 3 月 13 日から																		
		令和 3 年 3 月 27 日まで																		
	診療日及び入院していた日を○で囲んでください。	令和 2 年 3 月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	診療実日数	15	日
		令和 年 月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	診療実日数		日
	令和 年 月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	診療実日数		日	
上記の期間中における「主たる症状及び経過」「治療内容、検査結果、療養指導」等(詳しく)																				
新型コロナ感染症の感染の疑いのため、3/13初診。検査の結果陽性であり、肺炎の症状がみられたため同日から入院。1週間程度で症状の改善が見られ、3/26に実施した検査において陰性となったため退院。											手術年月日	令和 年 月 日								
											退院年月日	令和 2 年 3 月 27日								
症状経過から見て従来職種について労務不能と認められた医学的な所見																				
肺炎の症状の改善後も感染拡大防止の観点から、検査が陰性となるまでは入院が必要であったため、発病年月日から退院までの期間は労務不能と判断した。																				
令和 2年 4月14日																				
上記のとおり相違ありません。																				
医療機関の所在地 ○○県○○市○○1丁目2番3号																				
医療機関の名称 ○○病院																				
医師の氏名 ○○ ○○ 電話番号 ○○○-○○○-○○○○																				